

補助事業番号 19-1-129

補助事業名 平成19年度 精神保健思想の普及啓発補助事業

補助事業者名 財団法人 日本精神衛生会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

精神保健思想の啓発普及に資するため、広報誌の刊行やフォーラムの開催等を通じて精神保健に対する国民の関心と理解を図り、もって公益の増進に寄与する

(2) 実施内容

ア. 広報誌の刊行配布

「心と社会」129号 平成19年9月18日発行

A5判134頁 2,500部

「心と社会」130号 平成19年12月17日刊行

A5判130頁 2,500部

イ. 精神保健フォーラムの開催

日時 平成20年3月1日(土)

場所 有楽町朝日ホール

テーマ 精神科病院のこれからを考える

特別講演 仙波恒雄(日本精神科病院協会名誉会長)

フォーラム 座長

白石弘巳(東洋大学教授)

羽藤邦利(メンタルケア協議会理事長)

パネリスト

川崎洋子(全国精神保健福祉会連合会理事長)

宮本真巳(看護師 東京医科歯科大学大学院教授)

奥村茉莉子(臨床心理士 子育て工房心理相談室主宰)

佐久間啓(精神科医 あさかポスピタル院長)

川淵孝一(医療経済学者 東京医科歯科大学大学院教授)

総合司会 上別府圭子(東京大学大学院准教授)

2. 予想される事業実施効果

ア. 広報誌

広報誌の内容は時宜を得たものであり、最近職場におけるメンタルヘルスの重要性が高まっていることから配布先の40%を企業とした。精神保健に関するものであり数字的効果は示せないが、企業のみならず社会全体に心の健康に対する認識、理解を浸透させている。

イ. 精神保健フォーラム

テーマの「精神科病院のこれからを考える」は2004年に厚労省が発表した「精神医療保健福祉の改革ビジョン」を実現するための方策をさぐるもので、精神医療と福祉に携わる人たち、患者やその家族など373名が参加した。

「改革ビジョン」実現に、乗り越えなければならない様々な問題点が炙り出され、精神科病院が変わると共に、患者を受け入れる地域の理解、受け入れ態勢の確立など、地域の人々も変わる必要があるとの認識が共有されたことは大きな効果であった。

3. 本事業により作成した印刷物等

ア. 広報誌

「心と社会」129号 平成19年9月18日発行

A5判134頁 2,500部

「心と社会」130号 平成19年12月17日刊行

A5判130頁 2,500部

イ. 精神保健フォーラム

ポスター B3判2色刷 300枚

リーフレット A4判2色刷両面印刷三つ折り 12,000部

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人 日本精神衛生会（にほんせいしんえいせいかい）

住所： 〒162-0851

東京都新宿区弁天町91番地

代表者： 理事長 廣瀬徹也（りじちょう ひろせてつや）

担当部署： 事務局（じむきょく）

担当者名： 事務局長 伊藤龍彦（じむきょくちょう いたうたつひこ）

電話番号： 03(3269)6932

F A X： 03(3269)6932

E-mail： z-seisin@dc4.so-net.ne.jp

U R L： <http://www.jamh.gr.jp>